

田尻だより

平成 21 年

5月号

Vol. 74

次の田尻便りは
6月1日発行です。

新緑の季節。木々は

美しい萌黄色に染まり、

田んぼにはみるみる水

が引かれ、大地が潤っ

て行く様を実感します。

一方、先月末にメキ

シコで豚インフルエン

ザが発生しました。感

染の拡大に、各国で緊

張が高まっています。

〔バイオハザード〕
生物災害

豚インフルエンザを

めぐって、機内検査や

輸入豚の全頭検査など、

水際対策が行われてい

ます。しかし、インフ

ルエンザなどの生物災

害の予防は難しいです。

インフルエンザの人

が豚の世話をすると豚

も感染しますし、その

逆も然りです。ウイル

スは変異しやすく、新

型は自然発生しますし、

潜伏期間に検査しても、

感染確認はできません。

つまり、水際対策に

期待するよりも個人が

適切な自己防衛を行う

ほうがよっぽど現実的

です。感染が広がるほ

どウイルスは変異しま

すから、各自が自重す

ることが一番です。

皮肉にも、大型連休

が始まります。この国

民的な大移動がどのよ

うな結果をもたらすの

か。我々の社会システ

ムと個人の危機管理能

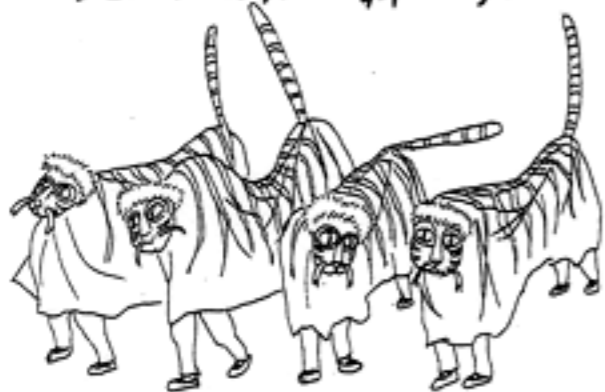
力が、試されているの

かもしれませぬ。

「粟は竜に従い、風は虎に従う」

時代を超えた素朴な舞は、

地域の若者が舞います。



商店街の屋根の上では
中学生が虎舞を披露し、
路上では園児によるかわいらしい
虎舞も見られました。

米 曆 ~こめごよみ~

- 4月7日 種まきをしました
~12日
- 4月19日~ 水張りをしました
- 4月20日~ 表層耕起をしました

種まき後、まいた苗床は田んぼやビニールハウス内で水張りをして育てます(水苗代、プール育苗)。水を張ることで病気を予防し、健康な苗が育ちます。

嫁日記

都会の人には申し訳ありませんが、私は極力都会に行きたくありません。特に東京などは、近頃は行ったらすぐに帰りたくなります。

東京の地下鉄に乗ると、もし地震が起きたらと想像してしまいます。また、空気がこもった車内で他人と密

着するときには、マスクをしていても不安になります。そうになると、一刻も早く田尻に帰りたくなるのです。

豚や鳥のインフルエンザも閉鎖的な多頭飼養環境で発生します。この高度に集約化した東京で、災害はどのような猛威を振るうのか。試算に危機を覚える人は、どれほどいるのでしょうか。